

施策大綱 7 行財政運営の効率化					
施策の目的	(1) 市民満足度の高い行財政運営を進める				
施策分野	行政運営 財政運営 連携事業				
基本方針	○常に市民ニーズを把握することで、費用対効果の高いサービスを提供し、市民満足度の高い行政運営の実現を目指します。				
施策の方向	地域情報化の取り組み 前期基本計画 P 107				
指標名	指標の考え方	現況 2017年	方向性	目標 2022年	該当
行財政改革に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合	12.1%	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	17.1%	○

担当部 市長公室 担当課 デジタル推進課

事業名 (任意)	予算科目				
	会計	款	項	目	
Wi-Fi [シンプルフリー] 設置	一般会計	2	1	9	
成果指標		目標値			
指標名	単位	R3現状値	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用回数	人	0	120	240	240

事業内容

【現状の課題と目的】
 ○コロナ禍により、それまでの集合研修は『オンデマンド式』と呼ばれる映像配信方式が主流になった。
 『オンデマンド式』の多くはYouTubeである。市のネットワーク構成ではYouTubeを閲覧することは不可能なため、新たなインターネット接続経路を設置する必要がある。
 ○災害対策本部では、本部員の情報収集に個人の端末を利用する。また派遣されるリエゾンも自組織との連絡用に接続可能なインターネットが必須になる。
 ○庁内設置可能で、かつある程度の可搬性のあるWi-Fi機器を導入しこれらの問題解決を図る。
 ※来庁市民用の『BARAKI-FREE-Wi-Fi』が途切れることがある。

【内容】
 ○モバイルWi-Fiは紛失の恐れがあるため、設置式の機器を導入する。
 ○コンセントから給電するだけで庁内どこでも利用できる汎用性の高い機器を導入する。
 ○LAN線の敷設等工事費を必要とせず、不要になった場合は解約することができる。
 ○市民ホールに1台、庁議室に1台、議会棟大会議室（災对本部）に1台の計3台を導入する。

令和4年度		令和5年度		令和6年度	
<経費内訳> >固定費用：15,000円×10ヶ月×1.1=165,000円 >初期費用：33,000円（税込） 計 198,000円		<経費内訳> >固定費用：15,000円×12ヶ月×1.1=198,000円		<経費内訳> >固定費用：15,000円×12ヶ月×1.1=198,000円	
予算額	198 千円	予算額	198 千円	予算額	198 千円
内 特財		内 特財		内 特財	
一財	198 千円	一財	198 千円	一財	198 千円

※特定財源がない場合は、見直す事業名や金額を記載してください。
 平成30年度導入した基幹システム再構築プロポーザルにより年間8,000万削減を実現しております。また、業務効率化について現在当課で導入しているシステム等を削減した場合、現在の市役所として成立ができません。市長・副市長・その他部長級からの改善要望を受けた導入、かつ、災害対策、見える通話システムの通信担保、オンデマンド講習受講のための導入です。